

令和7年度 長野県中学校新人体育大会剣道競技（北信地区大会） 実施要項

- 1 主 催 長野県中学校体育連盟 北信地区中学校体育連盟
- 2 共 催 長野県教育委員会 北信地区各市町村教育委員会
- 3 主 管 北信地区中学校体育連盟剣道専門部
長水中学校体育連盟 中高飯水中学校体育連盟 更埴中学校体育連盟 上高井中学校体育連盟
- 4 日 程 令和7年10月25日（土）①男子個人 ②女子団体
開場・受付 8：00 監督会議 8：40 開始式 9：10
（竹刀検量8：00～8：50 男女ともかりがね体育館）
競技開始 9：30 終了式 16：10 解散 16：30
令和7年10月26日（日）①女子個人 ②男子団体
開場・受付 8：00 監督会議 8：40 開始式 9：10
（竹刀検量8：00～8：50 男女ともかりがね体育館）
競技開始 9：20 終了式 17：00 解散 17：20
- 5 会 場 長野市立松代中学校 かりがね体育館
- 6 種 目 男女個人戦および団体戦
- 7 出場制限 個人戦への出場制限は設けない。団体戦は各団体男女1チーム以内とする。
- 8 チーム編成 団体戦 監督1名 選手5名 補員2名以内とする。
①引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。※ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
②令和4年度大会より、外部指導者の監督を認める。外部指導者が監督を務める場合は「指導者承認書」を当日の受付で提出する。
③引率者、監督、部活動指導員は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。
なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。（上記については別に定める対応に準拠する）
④地域クラブの監督については中体連に申請した指導者の名簿に記載のある者とする。
- 9 競技方法 個人戦 トーナメント方式 団体戦 予選リーグ 決勝トーナメント
※団体決勝トーナメントは各リーグ1・2位による。※男子は3位まで。
- 10 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則ならびに日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準じた北信中学校体育連盟剣道専門委員会申し合わせ事項により行う。
- 11 そ の 他
○試合時間3分3本勝負とし、団体戦の延長戦は行わない。個人戦は上位32名の選手が決定するまでは2分間の延長の後、判定とする。以降は勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と大休止（面を外す）を交互に挟む。
○団体戦の勝敗は、①勝者数 ②取得本数の多い方を勝ちとする。
○リーグ戦は勝ち点1点、引き分け0.5点を与え、得点の多い方を上位とする。順位決定で同点の場合は①総勝者数②総取得本数が多い方を上位とし、同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負とし、勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。

○紅白の目印は各団体で準備をする。

○競技中の怪我については、応急処置は行いが、その後は各校で対応をすること。

○竹刀検量を実施する。不合格にならないよう、各団体で事前に確認をしてくること。

○表彰は個人戦、団体戦とも4位までとする。

○男女団体4位までに長野県中学校剣道ジュニア強化錬成大会（12月）の出場権が与えられる。

○男女個人16位までを北信中体連の強化選手とする。秋～春に月1回行われる強化練習に参加できる。

○組み合わせは専門委員会において責任抽選の上決定する。

個人戦：専門部の責任抽選によりシードを決定する。1回戦は極力同地区の対戦を避け、同団体の選手がベスト8以前に対戦しないよう組み合わせる。

団体戦：専門部の責任抽選によりシードを決定する。予選リーグについては地区が均等に分かれるよう配慮する。決勝トーナメントの抽選は当日行い、同リーグのチームとは決勝まで対戦しないようにする。

○申し込みおよびその他

①《様式1》の参加申込書（事前）を、9月26日（金）正午までに北信地区剣道専門委員会にメールにて提出する。

参加申込先 北信地区剣道専門委員会 n.kendo.2021@gmail.com

②《様式2》の参加申込書（当日）と《様式3》の団体戦登録用紙を、大会当日受付に提出する。

※A4用紙2枚を横向きに張り付けた「団体戦選手表」は今大会は不要。

○大会当日受付にて大会参加費として選手一人につき200円、プログラム代として選手一人につき300円を徴収する。合わせて受付で支払いをする。

----- 北信中学校体育連盟剣道専門委員会申し合わせ事項 -----

1. 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則、令和7年度日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準じた本大会申し合わせ事項をもとに行う。
2. 紅白の目印(5×70 cm)は各校で準備する。番号の早いチーム（個人）を赤とする。
3. 団体戦の補員は欠員の出た位置へ出場する。選手変更は審判長（又は競技委員長）に申し出る。一度退場した者は最後まで復帰できない。
4. 竹刀は計量検印をうけたものを使用する。検印のないものを使用した場合は、相手の2本勝ちとする。また、異物を入れたもの、テープを巻いたものなどの不正竹刀を使用した場合も同様とする。不正竹刀の使用者、オーダーと違う位置で出場した者は、以後の同部門（個人、団体）の試合には出場できない。団体戦においては、予選リーグで発覚し場合は予選リーグのうちは補員を充てることができない。決勝トーナメントで発覚した場合は以後補員を充てることができない。
5. 竹刀の長さは男女共に114cm以内、重さ男子440g以上、女子400g以上。先端部最小直径値は、男子25mm以上、女子24mm以上。ちくとうの最小直径値は、男子20mm以上、女子19mm以上。先革の長さは5cm以上。中結の位置は全長の1/4の位置とする。竹刀の柄革に学校名、氏名を記入する。記名のないものは不合格となる。柄革に滑り止めのあるものは使用しない。弦の色は、黄色か白とする。
6. 竹刀のつばは直径9cm以下、茶色又は革色を使う。
7. 垂名札には団体名（〇〇中またはクラブ名）と姓を入れる。同姓の場合は名前の一字を入れる。ついていない選手の出場は認めない。
8. 試合途中での医療行為は治療必要の判断から5分間以内とし、それ以降は不戦負けとする。
9. 選手が転倒した場合は一呼吸おいて「止め」をかける。危険な場合には直ちに止める。

10. 突き技は禁止とし、反則とすることもある。片手技は有効としない。
11. 面ひもの長さは結び目よりさがりが 40 cm以内とする。
12. 試合前に円陣を組むこと、選手交替の際の胴突き等の行動はしてはいけない。
13. 応援は声を出さず拍手を基本とする。審判に故意に強要するようなことはしない。
14. 試合場への時計およびストップウォッチの持ち込みを禁止する。
15. 団体戦は 3 名以上で出場を認める。3 名の場合には次鋒、副将を欠員にする。4 名の場合には次鋒を欠員とする。
16. 個人戦で試合が続く場合は、3 分間の休息時間をとることができる。
17. 装飾及び刺繍は、大きさ・色・模様を含めて華美にならないようにする。
面皮革の色は黒・紺とする。
18. 試合者は、試合中にマウスシールドまたは面マスクを着用すること。